

平成 27年 06月 05日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 地域木造優良(ちきゆう)住宅国産モデル『岡山の家』

グループの名称 岡山県建築工事業協会

直近採択グループ番号 04-0361-0384

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名	中桐 潔	代表者印
代表者所属先	倉敷木材 株式会社	
代表者構成員番号	Ⅲ-33, V-33, VI-33	
代表者所在地	岡山県倉敷市中島1000-1	
代表者電話番号	086-465-3322	

(グループ事務局)

事務局事業者名	岡山県建築工事業協会	
事務局構成員番号	IX-1	
事務局担当者名	佐藤 佳寿子	印
事務局郵便番号	710-0803	
事務局所在地	岡山県倉敷市中島946-1	
事務局電話番号	086-441-0611	
事務局FAX	086-441-0641	
事務局担当者E-mail	info@okayamakenkoukai.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	地域木造優良(ちきゆう)住宅国産モデル『岡山の家』
2. グループの名称(必須)	岡山県建築工事業協会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0361-0384
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	岡山県全域
5. 結成年(必須)	1995 年
6. グループ代表者名(必須)	中桐 潔
7. グループ代表者の所属先(必須)	倉敷木材 株式会社
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	III-33, V-33, VI-33
9. グループ代表者所在地(必須)	岡山県倉敷市中島1000-1
10. グループ代表者電話番号(必須)	086-465-3322
11. グループ事務局事業者名(必須)	岡山県建築工事業協会
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	IX-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	佐藤 佳寿子
14. グループ事務局郵便番号(必須)	710-0803
15. グループ事務局所在地(必須)	岡山県倉敷市中島946-1
16. グループ事務局電話番号(必須)	086-441-0611
17. グループ事務局FAX番号(必須)	086-441-0641
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	info@okayamakenkoukai.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	
II. 製材・集成材製造・合板製造	6	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	12	
IV. プレカット	6	
V. 設計	17	
VI. 施工	15	
VII. 省エネルギー設備等の流通	0	
VIII. 木材を扱わない流通	0	
IX. I～VIII以外の業種	3	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	合法木材	国内	合法木材証明制度	1	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 71 戸		地域材加算合計 71 戸	
	経験工務店+未経験工務店の合計			
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計	56 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計	15 戸
	うち申請が確実	21 戸	うち申請が確実	0 戸
	うち申請が未確定	35 戸	うち申請が未確定	15 戸
			地域材加算(うち申請が確実)	21 戸
		地域材加算(うち申請が未確定)	50 戸	
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物			
	うち申請が確実	0 棟	0 m ²	
	うち申請が未確定	0 棟	0 m ²	
	最低1戸/社に配分するが、1戸/社の配分戸数を超える場合の超えた戸数について、又は、1戸/社の配分戸数に満たない場合は抽選とする。利用期間を設定し消化していない戸数はその後先着順として受け付ける。			

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	最低1戸/社に配分するが、1戸/社の配分戸数を超える場合の超えた戸数について、又は、1戸/社の配分戸数に満たない場合は抽選とする。利用期間を設定し消化していない戸数はその後先着順として受け付ける。			
---	--	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況(H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅				
	採択戸数	22 戸	交付申請戸数	22 戸	
	完了実績見込み				
		竣工済	3 戸	竣工予定	19 戸
木造建築物					
	採択棟数	0 棟	採択床面積	0 m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域 <small>(必須)</small>	<small>(地域型住宅の名称)</small> 地域木造優良(ちきゆう)住宅国産モデル『岡山の家』	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 岡山県全域
2. グループの名称・結成年 <small>(必須)</small>	<small>(グループの名称)</small> 岡山県建築工事業協会	<small>(結成年)</small> 1995年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 <small>(必須)</small>	04-0361-0384	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能		
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式		
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	この豊かで美しい自然に囲まれた岡山県には、歴史や文化の薫り高い街並みや建造物が数多く有しており、風格や味わいを感じさせる魅力がある「おかやま」のイメージを創りだしている。その景観を将来世代に残す為、長期にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた地域型住宅の普及や環境負荷の低減を図った住まいづくりを、供給していくこととする。	○
④ ①～③の背景		
⑤ その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	地盤調査を行い改良が必要な場合は改良工事を行い地盤保証を受ける。	◎

イ. 効率的な住宅生産体制の整備

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定		
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化		
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制		
④生産の合理化等に向けた事務局の役割		
b		
①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	一般社団法人JBNが編集した「木造住宅工事管理の実務」は、工程順に現場管理の要点をまとめた実践的手引書であり、これに沿うことで施工基準の整備を行う。	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	一般社団法人JBNが編集した「木造住宅工事管理の実務」に記載されている「木造住宅施工状況現場検査チェックシート」を活用。	◎
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化		
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	私たちは、地域から必要とされ信頼される工務店として、6つの『しっかり』を信条に行動します。 ①しっかりつくる・②しっかり守る・③しっかり持続・④しっかり育てる・⑤しっかりネットワーク・⑥しっかり行動	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域木造優良(ちきゆう)住宅国産モデル『岡山の家』	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 岡山県建築工事業協会	(結成年) 1995年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0361-0384	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	JBN維持管理計画書の提出と指定図書を住宅履歴情報としてJBN「いえもり・かてる」に蓄積し、登録する。
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	一般社団法人JBNが推進する指定期間(1年・3年・5年・10年・15年・20年・25年・30年)の点検の実施と完了報告の義務化。
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	住宅引渡時にお施主に、日常住まいの管理とお手入れが重要であることを「JBN住まいの管理手帳」を使い住宅のお手入れの仕方を説明する。
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	グループ内の施工業者が工事中に万が一の事が発生した場合は、JBNが提携する瑕疵担保責任保険法人と施主及び事務局が協議の上合意できれば、他の施工グループ構成員で積極的に施工サポートが出来る体制を整える。
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	
その他	(一社)JBNの協力指導を受け、工務店サポートセンターを経由し『住宅履歴情報システム』に登録を行い、竣工までの情報管理から引き渡し後のメンテナンス情報の登録までスムーズに活用できるようにし、引き渡し後の維持保全計画も立てメンテナンス管理を強化し、住宅の価値を高めることと、信頼へ更なる向上を目指します。	
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
エ. グループの技術力の向上		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	
	②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	
	④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	省エネ技術講習会を運営する全国木造住宅生産体制強化推進協議会(全国協議会)の構成団体に(一社)JBNが参加しているため、各都道府県の木造住宅生産体制強化推進協議会(地域協議会)とJBNと連携を図り、グループ施工会社・設計会社・大工等に講習会の周知を図る。
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域木造優良(ちきゆう)住宅国産モデル『岡山の家』	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 岡山県建築工事業協会	(結成年) 1995年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0361-0384	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>①地域材ごとの使用部位(必須)</p> <p>②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)</p> <p>地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>地域材供給の流れ</p> <p>各事業者間で流通した地域材の種類、使用量が分る書類提出(最終出荷者の納品書、木拾い表を添付。また、合法木材取り扱い事業者登録証添付) ※本社・工場・営業拠点の所在の違いがある事業者は、各拠点の証明書で可。</p> <p>建築請負契約 (タイプ1) 建主 建築確認等、代理申請業務 設計事務所</p> <p>設計事務所 設計契約 (タイプ1) 建主 建築請負契約</p> <p>その他 ・住宅履歴情報への登録サポート ・応急仮設木造建築を通じた地域支援 ・工務店事業サポート</p> <p>※手刻みの場合はプレカット事業者を通さない場合もある</p>	◎ ◎ ◎
b	<p>①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み</p> <p>②グループ全体における地域材の需給予測</p>	
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用</p>	
d	<p>①地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>②地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④和の住まいの要素を取入れた取組</p>	○
その他	<p>※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入</p>	

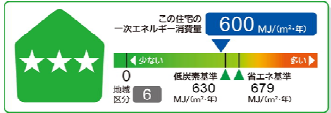
その他

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	JBNと全国建設労働組合総連合の2団体で構成する(一社)全国木造建設事業協会(通称:全木協)は、都道府県と応急仮設木造住宅建設に関する協定を現在までに17県と締結している。 岡山県で災害があった時には、地場工務店・大工等の力を結集し災害復興にあたる。	○

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

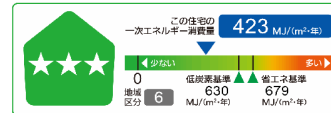
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

『岡山の家』認定低炭素住宅(6地域)の一例



外皮平均熱貫流率 UA値: 0.74W/(m²K)
換気: 壁付け式第三種 比消費電力0.04W/(m³/h)
給湯: 電気ヒートポンプ給湯器 JIS効率3
配管 ヘッドラー方式13A以下
浴槽 高断熱浴槽
照明: 全灯LED又は蛍光灯

『岡山の家』ゼロ・エネルギー住宅(6地域)の一例



外皮平均熱貫流率 UA値: 0.74W/(m²K)
換気: 壁付け式第三種 比消費電力0.04W/(m³/h)
給湯: 電気ヒートポンプ給湯器 JIS効率3.4
配管 ヘッドラー方式13A以下
浴槽 高断熱浴槽
照明: 全灯LED又は蛍光灯
太陽光発電設備: システム容量4.8kW

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。